

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2000.9.15 No. 109 発行 / (こどもの城) 広報部 ☎03-3797-5666
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1

21世紀の元気

平早勉の世界

進学競争の厳しい韓国の子らは、夏休みでも補習校とよぶ塾で熱心に勉強をしている。塾から家にもどってきたソウルの男の子は、重たいカバンを置くとかわりに持ち出したのは将棋板。花札やトランプも根強い人気があり、囲碁はかなり本格的に習う子も。

ルールがわからない女の子のぞきこむなか、男子同士の緑台将棋がえんえんと続く。日中のむし暑さが少しやわらぎ、ときおり涼風が流れてくる。夜は子どもらの天下となる。




ウォーターアドベンチャー2000
～戦え! キャッスルレンジャー～ (屋上ふしぎが丘)

親子で、子ども同士で楽しむ“遊び”のプログラムがいっぱいの(こどもの城)の夏休み。思いっきり体を動かして遊んだり、目や耳や手ざわりなど体全体の感覚を使っていろいろな遊びにチャレンジしたり—みんなで、さまざまな“遊び”を楽しみました。新しい出会いや発見をしたり、たくさんの友だちを作ったり—(こどもの城)での体験を大切に、「〇〇の秋」も元気に遊んでください。



素材との出会い展「竹と造形～バンブー革命」(造形スタジオ)



フェロシップキャンプ(小4～6)

【こどもの城】から飛びだして青空の下で野外活動を楽しむ

小・中学生を対象にしたさまざまな野外活動(キャンプ)が行われました。日焼けした子どもたちの顔には、仲間といっしょに過ごした思い出だけではなく、親と離れて自分たちの力で野外活動を作り上げたという満足感と自信があふれていました。



おんがくゲームアークード
「スーパースターゲッター! 2000」
(音楽ロビー)



ジュニア・アウトドア・スクール(小4～中3)



スポーツキャンプ(小3～中3)



感覚探検「見て、聴いて、さわって遊ぼう」(ギャラリー)

元気みなぎる(こどもの城)の夏休み 〈あそび〉大好き!!



屋上ちびっこプール(屋上遊園)

こどもの城 児童合唱団

「2000上海国際少年児童文化芸術祭」開会式で「となりのトロロ」を披露 (撮影=野口浩一)

こどもの城児童合唱団が、7月27日(8月3日に訪中)上海市で開かれた国際少年児童文化芸術祭に参加。中国の子どもたちとも交流しました。(2面に関連記事)




オリンピックヘレツゴ(体育室)

関東地方では連日のように30度を超える真夏日が続いた夏休み。大人はバテぎみだけど、子どもたちは元気いっぱい。(こどもの城)にも、たくさんの子どもたちが来館。造形遊び、スポーツ遊び、音楽遊び、パソコン遊び—いろいろな遊びにチャレンジしていました。



手作り映像おもちゃ 映画のしくみを体験!
「ヘリオシネクラブ」(Aスタジオ)



つくって遊ぼう親子工房「サマースライム」(保育室)



夏休み一日造形教室
「竹AKARI」(造形スタジオ)



探検家キャプテン・クリックのジャングルカメラ(パソコンルーム)

飢えた好奇心に。

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE FUJITSU



FMV-DESKPOWER C4/66L

FMV-BIBLO NE4/600D

FMV

DESKPOWER / BIBLO

FAX 本広告の製品カタログを FAXにてお送りしています。 千葉:043-299-3642 大阪:06-6949-3270 (資料番号/デスクパワー-1141、ビブロ1151)

キッズ・フィルム・フェスティバル

『チャッキー』(長編部門)、『フラットワールド』(短編部門)にグランプリ

今年で8回目を迎えた、日本でただ一つの国際的な子どものための映画祭「キッズ・フィルム・フェスティバル」が、7月28日～8月6日に【こどもの城】で開かれ、長編映画部門は『チャッキー』(エラ・レムハーゲン監督/スウェーデン/1999年/91分)、短編・アニメーション部門は『フラットワールド』(ダニエル・グリーブス監督/イギリス/1997年/29分)がグランプリに選出されました。

ノミネート作品は長編3作品、短編・アニメーション部門6作品。小学校2年生から6年生までの18人の子ども審査員が審査しました。最終日の午前中に開かれた審査会は、高学年と低学年の2グループに分かれて話し合い。最初にそれぞれが推薦する作品とその理由を発表。複数の作品が候補にあがりました。グランプリは1作品。ほかの人の同意を得るため、選んだ理由をさらにくわしく説明して、自分が選んだ作品の

“よさ”を強調したり、2時間近くわたって活発な議論が行われました。

その結果、偶然にも高学年と低学年が同じ作品をグランプリに選出しました。チャッキーという8歳の男の子を主人公とした長編劇映画『チャッキー』と、紙製の平面人形を使ったアニメーション『フラットワールド』の2作品です。

『チャッキー』の主人公は、シングルマザーの母親と二人暮らし。実父と出会ったときも、親子と分かって

いても名乗り合わずに男と男(人間と人間)として再会を約束して別れるなど、互いを尊重しあって前向きにたくましく生きるチャッキーの生き方が共感をよん



審査結果を発表する「こども審査員」。「グランプリは……」

だようです。

『フラットワールド』は、4万本におよぶ紙の平面人形を使った立体アニメーション。見慣れたセルアニメと違った世界に強い興味をもったようです。また、水たまりの裏側に別の世界があるというとっぴな発想、はさみとセロハンテープで外傷を直すなどのちょっとしたギャグ、見る人を飽きさせないハリウッド映画のようなスピーディーな展開——が子どもたちの関心を集めました。

なお、当初予定していたドイツのアニメーション作家、アレキサンドラ・シャッツさんは急病のため来日できなくなり、プログラムが一部変更されました。



北京の日本大使館前で(撮影=野口浩一)

こどもの城 児童合唱団 訪中日記

こどもの城児童合唱団が「2000上海国際少年児童文化芸術祭」に参加するため、7月27日、中国(上海、北京)へ向け出発。公演のほか、中国の子どもたちとの交流を深めるなどの日程を無事終了し、8月3日に帰国しました。訪中したのは児童合唱団90人、混声合唱団

34人、保護者・家族48人、引率スタッフなど13人の総勢185人。訪中日記を引率した吉田裕音楽事業部長に寄稿してもらいました。

公演のほか、上海・北京で中国の子どもたちと交流

【7月27日】成田空港から上海虹橋空港へ。

【28日】リハーサルの後、22か国の参加者が集まり開会式。8,000人収容の「上海大舞台」がほぼ満員になる。「となりのトトロ」を披露。観客席の中国の子どもたちも振り付けを覚えていて、歌に合わせて正確な動作を繰り返す様子も印象的だった。

【29日】芸術祭参加者は、上海市の各劇場に分かれて歌や踊り、武道などを披露。こどもの城児童合唱団は、「雲峰劇場」で「ずっと友だち」「すいすいすいすい」などを演奏。「すいすいすいすい」では和太鼓の演奏も加わり、その迫力に客席の子どもたちも目を凝らしていた。

【上海大舞台】(本格的なオペラハウス)で中国の子どもたちによるSF児童劇鑑賞。翌日のみやげ物購入に備え両替。初めて手にする中国の紙幣やコインを不思議そうに見守る子どもも。

【30日】午前、「普陀区少年宮」。絵画、書道、舞踊、楽器演奏など数多くの教室があり、実力により振り分けられている。表情は真剣そのもの。日本の児童館とはかなりかけ離れている感じ。見学後、館内の小劇場で合同コンサ

ート。合唱団の演奏、少年宮の子どもたちによる歌やピアノ演奏のち、「海はふるさと」「しあわせなら手をたたこう」を一緒に演奏。午後、「明珠小学校」へ。伝統衣装と民族音楽で出迎えてくれた。中国の子どもたちが考えたプログラムで交流。簡単なあいさつの言葉を互いの言葉で教わったり、クイズなどを楽しんだ。互いに歌などを披露しあった。

【31日】動物園でジャイアントパンダや珍しい猿などを見る。午後、空路北京へ。

【8月1日】日本大使館前で合唱を披露した後、大使館員手作りのバーベキュー・パーティー。日本の味は好評。午後、万里の長城へ。

【2日】広大な敷地に、日本の児童館、科学館、体育館に相当する建物がある「中国少年活動センター」見学。体育館では、飛び入りで卓球に挑戦したが、水準が高く歯が立たなかった。

故宮の建物の一部をそのまま使用して、時代劇の撮影ができるような印象。ヤンチン(揚子江)やアルフー(二胡)の演奏、京劇、武道などに続き、こどもの城児童合唱団も歌を披露。最後に「さくら」「海はふるさと」を合同演奏。

【3日】北京首都空港を立ち、日本(成田空港)へ。15時30分無事到着。



東京の渋谷区を中心に行われた世界の民族文化の祭典「ワールドフォークロリアーダ」。

ワールドフォークロリアーダ



月猫えほん音楽会(青山円形劇場)

満月の夜に絵本を月に映してジャズ・ピアノを楽しむ「月猫えほん音楽会」。子どもたちも、フェイスペンディングで猫に変身。「読み猫」「マイム猫」になって楽しみました。



L.I.T.の高校生グループが企画した「集まれ探検隊」2000に参加した小学校1～3年生グループに分かれて「館内探検」。

L.I.T.の集まれ探検隊! 2000

「ファミリーウィーク」10月28日～11月5日

10月28日～11月5日は【こどもの城】の開館を記念した「ファミリーウィーク」。家族(親子)で楽しむ遊びのプログラムをたくさん準備しています(詳細は来月号)。

公開講座「みんなで子育て」参加者募集

「ファミリーウィーク」のプログラムの1つ公開講座「みんなで子育て」を11月8日に開催します。後援は、社会福祉・医療事業団。

子ども・子育てを取り巻く環境が大きく変化するなかで子育てを考えると、祖父母の存在・役割が大きくクローズアップされます。そこで、祖父母を含めた三世家族が、子育てにどのようにかかわっていけばよいかを考える講演「祖父母と育児」とパネルディスカッションを行います。講師はこどもの城小児保健部の荻野悟郎顧問(小児科医)ほか。

約100人が「保育セミナー」に参加

「子どもと生活・家庭と文化」をテーマに第14回こどもの城保育セミナーが8月5・6日に開かれました。「子育て」への関心が高まり、各地で子育て支援のプログラムが活発に行われるようになってきています。子育て支援がめざすものは、子どもとともにいる生活が子どもにとって大人にとっても豊かで幸せを実感できるようにすること。そのために、「子どもとともにいる生活の質」を考えてみようというのが今回のテ

家族(親子)で楽しむ「遊び」のほかに 子育てを考えるプログラムも

参加を希望する人は、往復はがきに、住所(郵便番号)、氏名、年齢、電話番号、子ども(孫)の有無、職業、託児希望の有無を記入のうえ10月13日(当日消印有効)までに郵送ください。応募多数の場合は抽選。あて先=〒150-0001 渋谷区神宮前5-53-1 こどもの城企画研修部「みんなで子育て」係。お問い合わせは、こどもの城【☎03-3797-5666】まで。

「子育てママの悠遊タイム」は11月5日

「子育てママの悠遊タイム」が、11月5日に開かれます。お母さんには少しの時間子育てを忘れて「フラワーアレンジメント」を、その間お父さんには子どもと遊ぶ親子遊びをそれぞれ楽しんでもらいます。

「おりがみにつくなる講習会」

11月11日の「おりがみの日」をはさんで、10月28日～11月19日に「おりがみカーニバル」(主催=こどもの城、日本折紙協会)がギャラリーで開かれます。その関連企画として、児童厚生員や保育士など児童の健全育成に携わる人や折り紙が好きな一般の人を対象に、「おりがみにつくなる講習会」を開催します。

10月29日と11月12日に「おりがみにつくなる講習会」

10月29日は「動物の世界」、11月12日は「恐竜の世界」をテーマに子どもたちが協力して作れるような、折り紙のジオラマ作りを取り上げます。□日時=10月29日、11月12日(午

10月26日に「季節の離乳食～秋コース」講習会

初めての離乳食作りは、何かと心配です。いつごろから与えるのがよいのか? 作り方は? どんな食材がよいのか?—頭を悩ませることが少なくありません。5～8か月の赤ちゃんとその保護者を対象とした「季節の離乳食～春・夏・秋・冬」講習会の「秋コース」を10月26日に開催します。

「お知らせと訂正」

●コラム「こどもの城となままたち」は休載します。
●8月15日発行「こどもの城ニュース」(第108号)2面で、新しく設置された彫刻「ゆめについて」(林宏作)の記事中「バクとペンギン」と記載しましたが、「バクとペリカン」の誤りでした。おわびして訂正いたします。

10月の「わいわいスタジオ」

ミニ・コンサートやワークショップなど、いろいろな「音楽」を楽しみます。1時30分、3時30分/4階Bスタジオ
■10月1日 「手づくり楽器ワークショップ」フィルム・ケースを使った鳥笛作り。小1以上、定員30人。各回15分前から先着順に受け付けます。
■10月15日 「ミニ・コンサート」(内容未定)

10月の「こどもの城映画劇場」

11時30分、1時30分、2時30分、3時30分/4階Bスタジオ
■10月8・9日 「カナダのアニメーション」

「ファミリーウィーク」10月28日～11月5日

10月28日～11月5日は【こどもの城】の開館を記念した「ファミリーウィーク」。家族(親子)で楽しむ遊びのプログラムをたくさん準備しています(詳細は来月号)。

公開講座「みんなで子育て」参加者募集

「ファミリーウィーク」のプログラムの1つ公開講座「みんなで子育て」を11月8日に開催します。後援は、社会福祉・医療事業団。

約100人が「保育セミナー」に参加

「子どもと生活・家庭と文化」をテーマに第14回こどもの城保育セミナーが8月5・6日に開かれました。「子育て」への関心が高まり、各地で子育て支援のプログラムが活発に行われるようになってきています。子育て支援がめざすものは、子どもとともにいる生活が子どもにとって大人にとっても豊かで幸せを実感できるようにすること。そのために、「子どもとともにいる生活の質」を考えてみようというのが今回のテ

「ファミリーウィーク」10月28日～11月5日

10月28日～11月5日は【こどもの城】の開館を記念した「ファミリーウィーク」。家族(親子)で楽しむ遊びのプログラムをたくさん準備しています(詳細は来月号)。

公開講座「みんなで子育て」参加者募集

「ファミリーウィーク」のプログラムの1つ公開講座「みんなで子育て」を11月8日に開催します。後援は、社会福祉・医療事業団。

約100人が「保育セミナー」に参加

「子どもと生活・家庭と文化」をテーマに第14回こどもの城保育セミナーが8月5・6日に開かれました。「子育て」への関心が高まり、各地で子育て支援のプログラムが活発に行われるようになってきています。子育て支援がめざすものは、子どもとともにいる生活が子どもにとって大人にとっても豊かで幸せを実感できるようにすること。そのために、「子どもとともにいる生活の質」を考えてみようというのが今回のテ

参加家族募集「友の会」ファミリーハイキングは10月22日

「こどもの城友の会」の会員を対象とした、秋の野外プログラム「ファミリーハイキング」が、10月22日に実施されます。立川市の昭和記念公園で、自然を生かしたレクリエーション、会員同士の交流を深める親睦ゲームなどを楽しみます。□日時=10月22日(午前10時～午

10月29日と11月12日に「おりがみにつくなる講習会」

10月29日は「動物の世界」、11月12日は「恐竜の世界」をテーマに子どもたちが協力して作れるような、折り紙のジオラマ作りを取り上げます。□日時=10月29日、11月12日(午

10月26日に「季節の離乳食～秋コース」講習会

初めての離乳食作りは、何かと心配です。いつごろから与えるのがよいのか? 作り方は? どんな食材がよいのか?—頭を悩ませることが少なくありません。5～8か月の赤ちゃんとその保護者を対象とした「季節の離乳食～春・夏・秋・冬」講習会の「秋コース」を10月26日に開催します。

「お知らせと訂正」

●コラム「こどもの城となままたち」は休載します。
●8月15日発行「こどもの城ニュース」(第108号)2面で、新しく設置された彫刻「ゆめについて」(林宏作)の記事中「バクとペンギン」と記載しましたが、「バクとペリカン」の誤りでした。おわびして訂正いたします。

10月の「わいわいスタジオ」

ミニ・コンサートやワークショップなど、いろいろな「音楽」を楽しみます。1時30分、3時30分/4階Bスタジオ
■10月1日 「手づくり楽器ワークショップ」フィルム・ケースを使った鳥笛作り。小1以上、定員30人。各回15分前から先着順に受け付けます。
■10月15日 「ミニ・コンサート」(内容未定)

10月の「こどもの城映画劇場」

11時30分、1時30分、2時30分、3時30分/4階Bスタジオ
■10月8・9日 「カナダのアニメーション」

「ファミリーウィーク」10月28日～11月5日

10月28日～11月5日は【こどもの城】の開館を記念した「ファミリーウィーク」。家族(親子)で楽しむ遊びのプログラムをたくさん準備しています(詳細は来月号)。

青山劇場 INFORMATION

青山劇場

青山円形劇場

10月21日に「小児保健セミナー」

「子どもと家族の心を支える～カウンセリングの技法をもちいて」がテーマ

【こどもの城】では、子どもを取り巻く大人を対象とした講習会・研修会なども実施しています。医師、保健婦(士)、保育士、養護教諭、看護婦、栄養士、児童館職員などを対象とした「小児保健セミナー」もその1つ。今回は「子どもと家族の心を支える～カウンセリングの技法をもちいて」をテーマに、10月21日(午前10時～午後5時)に開催します。

子どもの成長発達には、家族がそれぞれの立場で子どもにかかわり、互いに支え合うことが大切。子どもを含めた家族を支援するために、援助者はどのように接したらよいか、その基本となる援助の「心」(あり方)を学び、カウンセリングの方法について実技をとおして体験します。午前中が、講義「家族支援のありかた」(田中美郷帝京大学名誉教授・田中美郷教育研究所所長)、午後がカウンセリング技法の総論の講義と実技(グループを作って体験)で、講師は千葉大学教育学部の清水幹夫教授と諸富祥彦助教授。

定員は100人、参加費8,000円。先着順に受け付け中です。

お問い合わせ・お申し込みは、小児保健部セミナー係【☎03-3797-5667】まで。

青山劇場予約センター